



喜びを分かち合って

運動会や遠足が終わり、気が付くといつの間に子どもたちの表情が変わってきています。特にたんぽぽ組の子どもたちの変化には驚かされます。春にはお母さんの手をしっかり握って緊張した顔でやってきていた N ちゃんが、大きな声で仲間とやりとりし、からからと笑い転げながら目の前を駆け抜けていきます。先生がいなければ遊びだせなかった子どもたちが、先生を追い立てる勢いで動き出しています。M 君も自分のやっていることを見てほしくて、先生の手をぐいぐい引っ張って連れて行こうとしています。何だかあともう一步が踏み出せずにいた年中の R 君も、Y 君という仲間に出会ってからは表情や言動に自信が見て取れるようになりました。そしてそれは Y 君の大きな変化のきっかけにもなりました。仲間と一緒に力を合わせたこと、楽しかった経験がひとりひとりの自信に繋がり幼稚園中が仲間を感じて動き始めました。そして迎えた“X1”。

自分の考えたこと、やってみたいことを仲間や先生と力を出し合って実現していきます。同じ気持ち分け合いながら、毎日毎日、あそびこんでいきます。思いを伝え合いながら、でもそれは時に気持ちのぶつかり合いを生み出して、けんかになってしまうこともあります。それでも、自分たちで「やってみたい！」と始めたことだから、自分の気持ちを押したり引いたり。少しずつ歩み寄り“折り合いをつける”などという難しいこともしながら、力を合わせてあそびを創りあげていきます。その中で子どもたちは“仲間と出会う”“力を合わせる”という経験をします。しかし、大切な経験はその先にある『楽しかったね！おもしろかったね！』という充実した喜び、『嬉しい気持ち』の共有ではないかと思っています。この経験は仲間との出会いを一層深めていきます。あそびを広げ深めていきます。さらにもっともっと、この『嬉しい気持ち』を多くの仲間たちに分けてあげたい、共有したいと思うようになります。“X1”の最後の日として過ごした 18 日の幼稚園には『嬉しい気持ち』を大きい組から分けてもらったばら組とたんぽぽ組の笑顔があふれ、その笑顔をもらったひかり組の子どもたちの笑顔は更に輝きを増していました。満足な想いが伝わってきました。子どもたちは知っています。『楽しい！』も『嬉しい！』も自分ひとりのものでなく、多くの仲間たちと分かち合った時に、もっともっと大きな 喜び に変化することを。

今週、愛隣幼稚園はアドヴェントの期間に入りました。私たちのために神様の御子イエス様がお生まれになった、という『嬉しい』お知らせは二千年の時を超え、ユダヤの地から遠く離れたこの日本にも伝えられ、今も伝えられ続けています。クリスマスの夜、馬小屋でお生まれになったイエス様に出会った羊飼いたちは、そこにいたマリアやヨセフらとその 喜び を共有しました。これは彼らの心を躍らせます。もっともっとたくさんの人たちとこの 喜び を分かち合いたいと思います。分かち合った 喜び は、きっと彼らの心をさらに豊かに満たす大きな大きな 喜び へと変化したに違いありません。神様からの嬉しいお知らせ クリスマスの喜び は、私だけのものでなく、世界中の全ての人に同じように届けられなければならないのです。この 喜び で私たちの心が真実に豊かなもので満たされるためです。2011年のクリスマス。どこよりも多くこの 喜び と神様の恵みが被災された方々の上に届きますように。苦しみや悲しみは皆で分けて背負いませんか。そして 喜び は皆で分かち合いましょ。